

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2017年7月23日 報告者: Y.M

山行名	三方ヶ峰(2040m)・池ノ平湿原フラワーハイキング [雲上の丘 2110m/長野県]
実施日	平成 29 年 7 月 22 日(土) 日帰 ハイエース利用
天候/参加人員	天候:晴後雷雨、レベル:★☆☆ 参加者:申込12名/実施12名(男3名/女9名)
パーティスタッフ	CL/計画: SL: 会計: 救護:
参加メンバ	
費用 一人:5,100円 カンパ金:202円	約5,100円(交通費のみ) ハイエース燃料料¥16,848、燃料代 [@103x(500+50)/5] ¥11,330、高速料金(圏央厚木-東部湯ノ丸往復 @6660x2)¥13,320、ドライブ謝礼(18,000+距離加算1000)¥19,000、池ノ平駐車場¥500/合計¥60,998 集金(@5,100x12)¥61,200-費用合計¥60,998=残金¥202(山行カンパ金会計に繰り入れ)

		歩行時間	休憩時間	行動時間	*当初計画にあった籠ノ登山登山(歩行2:15/行動3:10)を往路交通遅延(約40分)と雷雨予測により割愛して実施。
	ガイトブック	2:10*	—	—	
	計画	2:00*	0:50	2:50	
	実行*	1:57	1:13	3:10	

実行コースタイム記録

圏央道八王子JT頭に渋滞約25分

鷲尾=(荻野新宿/林経由)=本厚木旧ヨカト前=圏央厚木IC==狭山PA==佐久平PA==東部湯の丸IC==池ノ平駐車場

6:00	6:19	6:35	7:33/7:45	9:27/9:38	9:52	10:32/10:50
0:35	0:14	0:16 (昼食)	0:15	0:22	0:15	(野菜の買物)
—雲上の丘—見晴岳コマツ園—三方ヶ峰—鏡池—開放口—池ノ平グリーン広場—池ノ平駐車場==道の駅くるみの里						
11:25/11:35	11:49	12:05/12:53	13:08/13:10	13:32/13:45	14:00/14:19	14:54/15:31
(車中見学)		(夕食)事故渋滞約35分				
==海野宿==東部湯ノ丸IC==横川SA==上里SA==厚木PA=圏央厚木IC=厚木ヨカト前=(林・荻野新宿経由)=鷲尾						
15:40/15:45	15:58	16:37/16:58	17:32/18:10	19:46/19:57	20:00	20:20
						20:40頃

コースの概要、特記事項、反省事項等

昨年、湯の丸高原のレンゲツツジと池ノ平のコマツの両方の適期として、梅雨最盛期の7月上旬実施で計画したが、雨天で流れてしまった。今年は湯ノ丸のレンゲツツジは諦め、池ノ平・三方ヶ峰に夏の花々が咲き揃う7/22に設定し、籠ノ登山の登山を追加し、TTCメンバ11名に、お試し参加の女性1名を加えた12名で実施する運びになった。

2日前に関東甲信以西の梅雨明け宣言が出され、毎日猛暑の好天が続いていたが、7/22は梅雨前線が南下して、新潟・長野方面は午後から不安定で雷雨の確率が高い予報のなかを出発。夏休み最初の週末とあって、中央道合流で約25分、関越道合流で約10分の渋滞があり、登山口の池ノ平駐車場に到着したのは計画より約40分遅れの10:30AM。青空とはいえ、北の空には入道雲が湧き、午後から夕立に遭いそうな気配濃厚の空模様だ。そこで、主目的の三方ヶ峰・池ノ平フラワーハイキングを先に実施し、籠ノ登山は時刻と天候を見て実施可否判断することで、メンバの了解をもらって、約3時間のフラワーハイキングに出発した。

雷尾根上に緩いアップダウンが続く見晴歩道の道端や斜面に咲く多くの花々を愛で、眼下に広がる池ノ平の緑の絨毯を見下ろし、涼風が心地よく吹き渡る気温約20℃の別天地をゆったり歩む。本日のメンバ12人中、10名は百名山完登の超ベテラン揃いでリゲも気楽に歩け、ギャグ連発のSLも終始絶好調だ。お試し参加のHMさんにも満足いただけたと思う。

昼食を予定していた最高のビューポイント雲上の丘は、林間学校で湯の丸高原にやってきた埼玉県下の小学5年生の子供達に占領されていたので先に進んだ。ワサビツツジが咲くピグミーの森を抜け、その先に広がるお花畑を、今を盛りと彩るワサビワロ、ゲンナワロ、ヒコキアヤメ、カグイウ、ヤマダマキ、ヤギラン、シジクウ、マツシウ、ワサビトリ、ウツボグサ、シモツク、ニガナ、カラテシコ、ワレモコウ、ウスユキソウ、クルマリ、レンゲツツジ、ニッコウキスゲ、ノアザミ、ワカトリ、シロウ、マルバタダキ、コケモ、ゲンバイソ等の多くの花々に大感動。

見晴岳分岐を左折すると、砂礫の南西斜面にコマツとイブキヤコウが群生する見晴コマツ園に到着。久しぶりに見るコマツに顔を近づけ、じっくり鑑賞するメンバや夢中で写真に収めるメンバ等々。一端下って登り返した南に突き出すように聳えるピークが三方ヶ峰頂上で、その西側の砂礫の斜面にコマツの群生。頂上のベンチで360度の大展望を楽しみながら遅めの昼食。突然の雷に一目散で下山した烏帽子岳、ワカミとレンゲツツジを求めて何度も登った湯ノ丸山、水ノ登山から籠ノ登山への縦走、かっつの浅間山の登山可能最高峰黒斑山に登った思い出話に花が咲く。その後、池ノ平に降り立ち、湿原を半周して駐車場に2:00pmに戻った。これから籠ノ登山をピストン登山することは可能だが、黒雲が空を覆い出し、雷鳴が響き、間もなく夕立が来そうな空模様のため、CL・SLが協議し、メンバ全員の了解を得て、籠ノ登山を割愛して、帰途につくことにした。

帰路、道の駅雷電くるみの里に立ち寄り頃雨が降り出し、北国街道海野宿の町並は車窓見学。土砂降りの上信越高速道を走り、計画書通りの午後8時過ぎに厚木市に無事帰着。久しぶりに多くの高山植物を愛で、全員満足のうちに終了できた。